

ポローニア

ポローニアは県花「桐」の学名です。

第44号

2020-7

令和2年7月3日発行

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386
E-mail iwa-koupren@aroma.ocn.ne.jp FAX(019)613-7795

令和2年新年度 試練の春を迎えて



▲岩手県高P連会長 清水成樹

新年度がはじまり間もなく、今年の石割桜は静寂の中でもしつかりと花を咲かせておりました。あれからあつという間に、雨後の新緑が鮮やかな季節を迎えています。日頃は本連合会の活動にご理解ご協力頂き厚く御礼申し上げます。

未知の新型コロナウイルスの感染が日本のみならず世界中に猛威を振った昨今、不安や恐怖心だけが先行しました。学校生活全般においても今後まだまだ、縮小・制限・自粛・中止を伴う機会の損失が予想されます。既にご周知の通り、県高校総合体育大会と春季東北地区高校野球県大会・地区予選や各種コンクールは中止と決まりました。これまで日々頑張ってきた生徒たちの努力の積み重ねを考えると集大成の場がなくなつたことに、3年生の親としても非常に残念・無念で言葉ありません。

様から広くご意見を頂き、結束を固めたいところではあります。現在の情勢を鑑み、苦肉の方法を選択せざるを得ないことをどうぞご理解頂き、引き続きご協力を強くお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策について本連合会は、岩手県・県教育委員会の方針を受け止め協力していきます。岩手県は県土も広く小規模校から大規模校まで様々：地域性・学校の特徴も含め一律にこうすべしという正解、そして新型コロナウイルスに関する正解が存在しない以上、各校PTAが学校と協議し知恵を絞り、1つひとつその答えを作っていくしかありません。だからこそ、正しくない情報やデマに振り回されず、正しく恐れ、正しく行動することが大切です。「危機に直面すると物事がよく見えてくる」とはスティーブ・ジョブスの言葉。困難という壁を乗り越えなければ、その先の答えは見つからない！

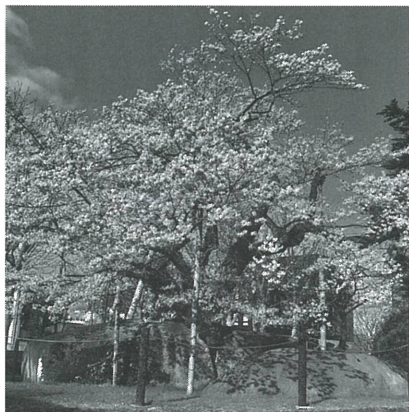
例えば、PTAの会議や事業。他校はどう取り組むのか？等、些細な情報が少しでも検討するヒントになるのであれば、遠慮なく本連合会事務局へお問い合わせ下さい。

6月に予定されておりました岩手県高P連通常総会は書面会議に、創立70周年記念講演会・式典・祝賀会は延期とさせて頂きました。本来であれば直接顔を合わせ、皆

石を割る桜の如く降々と！この困難に負けないで乗り越えていきましょう！

令和2年度 役員

会長	清水 成樹 (盛岡第一)
副会長	菊地 敏明 (紫波総合)
	山田 道宏 (花巻南)
	小野寺 道 (水沢商業)
	海山 忠 (大船渡東)
	坂久保 了 (大野)
理事	菅原 まゆみ (盛岡第四)
	山崎 隆司 (不来方)
	下村 芳恵 (盛岡農業)
	佐々木和歌子 (盛岡第二)
	松田 恵市 (遠野)
	八重樫 敏 (黒沢尻北)
	崎山 道範 (金ケ崎)
	千田 恭平 (一関第一)
	蒲生 哲 (高田)
	千葉 悟 (釜石)
	細沼 典明 (福岡)
	荒谷 克裕 (福岡工業)
監事	廣田いずみ (盛岡第二)
	菊池 哲也 (花巻農業)
顧問	渡辺 正和 (前会長)
	内館 茂 (元会長)
	佐藤 有 (校長協会会長)



岩手県立平館高等学校PTA会長 田村 晶子



▲体育祭でのひつつみのおふるまい



▲紫薫祭PTA青空市場



本校は岩手山の裾野に広がる八幡平市唯一の学校です。普通科と家政科学科があり、平成30年には創立70周年を迎えた伝統のある高校です。近年の少子化に伴い、定員数は1学級減となりましたが、地域の方々に見守られ、生徒、保護者、教職員が丸となり、日々頑張っております。

PTAの活動としては、花壇整備、年2回の朝の挨拶運動、体育祭でのひつつみのおふるまい、紫薫祭（文化祭）の青空市場でのがんばり等の販売や餅のおふるまいがあり、子供たちと同じ熱意をもって活動しています。そのほか、保護者と教職員の親睦を深めるため、研修旅行を年1回開催しています。昨年はバスで一関方面へ行き、狛鼻溪の舟下りや紙すき体験など楽しい時間を過ごしてきました。

本校は岩手山の裾野に広がる八幡平市唯一の学校です。普通科と家政科学科があり、平成30年には創立70周年を迎えた伝統のある高校です。近年の少子化に伴い、定員数は1学級減となりましたが、地域の方々に見守られ、生徒、保護者、教職員が丸となり、日々頑張っております。

母親委員会の活動も活発で、PTA全体の活動に加え、体育祭での給水所の設置や母親交流会の開催など多岐にわたる活動をしています。一昨年度の母親交流会では、いろいろな味のがんづき作りに挑戦しました。そのレシピをもとに、昨年度の紫薫祭では新しい味のがんづきを販売しました。

今後も保護者と教職員が力を合わせ、コロナに負けずに、子供たちが充実した学校生活を送れるように頑張っていきたいと思っております。



▲花壇整備活動

請求なければ支払いなし

（一社）全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後19年目となりました。

令和2年6月現在

〈加入状況〉全 国 2,231校 1,222,189人
岩手県 67校 24,869人

〈事故の際は〉全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話
0120-119-110（24時間365日受付）

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉令和2年5月15日現在

Aプラン（病気補償あり） 62校 1,484人

Bプラン（病気補償なし） 61校 806人

Cプラン（自転車重点型） 57校 798人

〈お問い合わせ〉AIG損害保険株式会社盛岡支店
TEL 019-651-0584

今年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響で3月には休校となりましたが、幸いにも無事に新年度をスタートすることができました。困難もありますが、これから歴史を作る上で、保護者の皆様や先生方の協力をいただきながら、子ども達と共に、たくましく、明るく、地域に愛される学校を目指してまいります。

昨年10月には、開校記念式典が執り行われ、大勢の保護者や来賓の皆様が見守る中、盛岡第一高校音楽部の皆さんと共に新しい校歌を披露するなど、子ども達と共にお祝いすることができました。

昨年10月には、開校記念式典が執り行われ、大勢の保護者や来賓の皆様が見守る中、盛岡第一高校音楽部の皆さんと共にお祝いすることができました。

本校は、盛岡みたく支援学校と花巻清風支援学校の教室不足を解消するため、昨年開校の運びとなりました。

小学部38名、中学部7名、高等部16名、合計61名でスタートし、本年度は新たに31名の新入生及び転入生が加わり、児童生徒数は92名となりました。校訓「ともに 明るく、たくましく」のもと、児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、お互いの良さを認め合い、意欲をもって自ら学ぶ子どもを育成すべく、日々楽しく充実した学校生活を送れるよう取り組んでおります。



あたらしいPTAの門出

盛岡ひがし支援学校PTA会長

国廣 英樹

無理なく出来る事を

岩手県立釜石高等学校
PTA会長

千葉 悟

本校には普通科と理数科が設置されており、平成24年度から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、先進的な理数教育を実施するとともに、校内でのゼミ活動や国内外での研修活動等を通し、アクティブ・ラーニングを展開しています。これにより、主体的・協働的に探究する姿勢を有した国際性豊かな科学技術人材の育成に取り組んでいます。また、平成27年度に、県立釜石祥雲支援学校高等部との併設校となり、インクルーシブ教育にも力を入れています。本校のPTA活動は、事務局の他に、広報委員会、研修委員会、健



▲朝のあいさつ運動



▲釜高祭のバザーと軽食コーナー

今年度はコロナウイルス感染対策により通常通りの行事開催がほぼ不可能な状況になっております。このような時だからこそPTAとして、子ども達と学校を支えていけるよう努めていきたいと思っております。

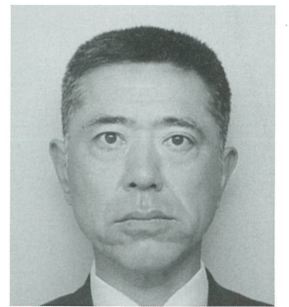


明るく元気な定時制！

岩手県立杜陵高等学校奥州校定時制
PTA会長

菊地 正行

本校は全国初となる単位制の導入等、定時制通信制教育における先駆的な実践に取り組んでいる、杜陵高等学校（本校・盛岡市）の分校として平成21年に設置された新しい学校です。単位制は自分の興味・関心に応じて科目を選択し、オリジナルの時間割を作る事が出来る、一人一人に合ったオーダーメイド型のカリキュラムです。保護者の皆様は、定時制・通信制高校にどのようなイメージをお持ちでしょうか。昔なら動きながら学ぶ勤労学生？現在では、いろいろな問題を抱えている人が集まる学校？ネ



▲平成30年度PTA研修旅行 山形県郷土館文翔館(旧山形県庁舎)にて

ガティブなイメージがあるかもしれませんが、本校は部活動も盛んで明るく元気な定時制です。部活動では2部のインターハイと言われる全国高等学校定時制通信制大会に、卓球・バドミントン・柔道・剣道の四競技で昨年度出場しています。PTAの主な活動としては、秋に研修旅行を実施しています。教職員保護者、生徒、家族を含め参加し、体験学習や歴史について学び、そして親睦を深めています。今年度は活動自粛となりましたが、「今」出来る事に取組んでいきたいと思っております。

編集後記

「未曾有の「前代未聞の」そんな言葉をこれほど実感したことはなかったかもしれません。2月末からの、新型コロナウイルスの問題によって、私たちの生活は、変化したといつて過言ではないでしょう。学校関係だけを見ても、規模が縮小された卒業式・入学式。入学試験も厳戒態勢のなかおこなわれました。さらには、高校総体はじめ部活動に関する多くの大会も中止に追い込まれました。特に、高校生活での部活動の有終の美を飾るはずであった場を奪われた3年生に対しては、一体どんな言葉をかけてよいか、彼らの気持ちを想うと、心を痛めずにはいられません。

まだまだ、先行きが不透明な状況ではありませんが、生徒たちも我々保護者も前を見据えて行かなくてはなりません。刻々と変化する社会情勢の中、学校・生徒・家庭が連携し必要な情報を収集し選択していくことが重要ではないでしょうか。コロナ後、どんな世の中になるのかは分かりませんが、どんな状況にも対応できるスキルを身に付けていきたいものです。

令和2年度の経験を、将来笑って振り返ることができる日がくることを願っております。

子どもたちの未来に、幸多からんことを。
(調査広報副委員長・細沼典明)

〈編集委員〉令和2年度調査広報委員会

- 委員長 坂久保 了 (大野高校)
- 副委員長 細沼 典明 (福岡高校)
- 委員 田村 晶子 (平館高校)
- 馬場 明子 (遠野高校)
- 大内カンナ (宮古商工)
- 屋形場哲也 (大野高校)
- 佐藤 尚 (県高P連)
- 木村 智子 (県高P連)

◇事務局

- 木村 智子 (県高P連)